

障がいのある方の雇用に取り組む

村田寝具株式会社 (宇治市)

「京都はあとふる企業」です



【主な事業内容】寝具製造卸、寝装品レンタル・リース等

【障がいのある方の主な仕事】寝具類の洗濯作業、搬入・搬出作業など



【障がい者雇用の経緯】

平成13年、洗濯機や乾燥機の安全装置の具備が進む中で、特別支援学校の2人の雇用が最初でした。得手不得手はあるものの、与えられた仕事を一生懸命にこなしていく2人の姿は、社長をはじめ社員の障がい者の雇用・就業のイメージを一変させました。その後、機械設備の整備の際に、仕事を洗い出し、さらに2人雇用しました。現在、3人が洗濯の現場で働いています。

【工夫していること】

機械の安全性のさらなる向上を図るとともに、作業方法や手順の反復した指導と職業生活上の相談を行うために業務援助者と職業コンサルタントを配置しています。また、仕事の指示は決まった人が出します。

洗濯の現場は、この3人とパートさんが中心に担っています。一緒に働く中で、パートさんの働く姿勢も変わりました。パートさんが彼らに教えてもらう場面もあります。



【Sさんに聞きました】

18年目です。コミュニケーションをとって上手くやれるか不安でしたが、働きながら何かを見つけられたらと思いました。フォークリフト(自動車)免許を取り、寝具類の搬入・搬出を担当しています。前後の行程の社員と話し合いながら間違いなく出来るようになりました。

休みは映画を観たり、甥っ子・姪っ子と遊んだりしています。

【Hさんに聞きました】

14年目です。実習を通して続けられる仕事と思いまいた。入社当時は、まだ洗濯機が少なく、糊づくりも担当しましたが、上手くできず社長に怒られました。今は、寝具類の仕分けとタタミを担当しています。職場では皆に声をかけるようにしています。

時々皆と食事に行くこともあります。

【Iさんに聞きました】

14年目です。電車一本で通勤出来るのが魅力でしたが、最初の頃は、緊張して失敗ばかりしていました。洗濯作業全般を担当していますが、まだ分からないこともあり、周りの人と話し合いながらやっています。身体の弱いところもあり、働けることが何よりうれしいです。将来は自立したいと思っています。